

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆東京都内の病院、7割が赤字 都が緊急提言「診療報酬10%上げを」

・東京都は都内病院の経営状況に関する中間報告を発表した。本業にあたる医療サービスの損失を示す「医業赤字」に陥った病院は2024年度に68%を占めた。都は同日、上野賢一郎厚生労働相に対し、26年度の診療報酬改定について「少なくとも約10%の改定が必要」などと大幅な引き上げを求める緊急提言を提出。

◆高市早苗首相、労働時間の上限緩和狙う 働き手の需要踏まえ検討

・高市首相は労働時間の規制緩和を成長戦略の柱に据える。残業できる時間を延ばし、企業の競争力を高めるとともに、賃金を増やす選択肢の拡大を狙う。「柔軟な働き方」は雇用の流動性向上といった労働改革への布石にもなる。首相が新たに立ち上げた「日本成長戦略会議」は10日の初会合で、経済対策に盛り込む重点施策をまとめた。

◆出国税3倍以上に、観光公害対策へ政府内に案 旅券取得手数料は下げ

・政府内に1人1000円の国際観光旅客税(出国税)を3倍以上に引き上げる案があることが分かった。訪日外国人客の増加を受け、税収を観光公害対策にあてる。与党の税制調査会などと協議し、年末までに結論を得ることをめざす。収入の一部は日本人のパスポート(旅券)取得時の手数料の引き下げに充当する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆10月の工作機械受注17%増 海外向け受注額が過去最高

・日本工作機械工業会が発表した10月の工作機械受注額(速報値)は、前年同月比17%増の1430億円だった。プラスは4カ月連続。日工会は海外向けの伸びが全体の受注増を引っ張ったと説明し「工作機械への底堅い需要がある」とコメント。海外向けは21%増の1075億円だった。日工会が発表している月別の受注額としては過去最高となった。

◆狭小マンションにも住宅ローン減税 国交省検討、適用最低基準40㎡に緩和

・国土交通省は5年ごとの住生活基本計画で、住宅ローン減税の適用基準として準拠してきた居住面積の目安を「40平方メートル程度」に引き下げる。現状の「最低50平方メートル」を改定する。狭いマンションや戸建てにもローン減税を適用できるようにする。資材高などによる住宅価格の高騰を踏まえ、家計の負担軽減を狙う。

◆“2年後に蛍光灯の製造中止”認知は6割にとどまる

・2027年末で蛍光灯の製造・輸出入が禁止されることを受け、パナソニック(東京都港区)は9月、蛍光灯に関する意識調査を実施した。製造・輸出入禁止の認知率は約6割で、25年3月の前回調査からはほぼ横ばいで推移している。一方で「聞いたことがない」と回答した人も依然として4割以上に上った。

《 注目商品 》

■ミラタップ、横幅のミリ単位オーダーが可能なキッチン「Altina(アルティナ)」

・横幅のミリ単位オーダーが可能な同社初のセレクトオーダーキッチン。天板はステンレスやセラミックなど27種類、扉面材は58種類の豊富なバリエーションから選べ、5万通り以上の組み合わせが可能。空間に合わせて設計できるオーダー対応商品のため、リフォームにも最適。



■パロマ、家事ラク・快適性を叶えるコンロ・給湯器シリーズ

・家事ラク・時短・快適を両立させた新ブランド「Paloma GRAND Series(パロマ グランドシリーズ)」を始動。「驚きと感動と、ワンランク上の心地よさ」がテーマ。厨房機器としてビルトインコンロ「クレア」「アバンセ」「フェイスグランド」「ウィズナ」をラインアップ。



■三和シャッター工業、手動窓シャッターをシャフト交換だけで電動化

・既設の手動窓シャッターを電動化する「マドモアチェンジ」に新モデルを追加。従来のモデルではシャッターボックス内に別置開閉機の設置スペースが必要だったが、新モデルは開閉機を内蔵したシャフトの交換だけで電動化でき、窓シャッターの電動化が可能。

